

令和7年度 第3回美里地域会議 会議録

日 時：令和7年6月12日（木）19時～20時00分

場 所：美里交流館 多目的ホール

出席者：＜地域会議委員＞青木 徹、大坪 道助、岡本 渉、北村 猛志、小林 健一、
小林 忠雄、清水 幸男、鈴木 智映子、中島 康隆、
野村 耕一、濱野 敏子、松村 洋、丸石 敏憲、
望月 英光、森口 美代子、山本 由和、吉本 勝、
佐藤 弘、柘植 英二
(欠席) 豊田 博久

＜高橋支所＞ 前田支所長、出口副支所長、河野主査

＜内容＞

1 豊田市民の誓いの唱和

2 会長挨拶

3 5月分科会について【報告】

5月20日（火）に開催した地域会議の分科会において、第2回地域会議の内容を基に仕様書の詳細を協議したこと、協議内容を基に作成した仕様書で委託業者に参考見積を依頼していることを報告した。

4 高齢者実態調査について【説明】

(1) 業務概要について

事務局で作成した仕様書のうち、各調査の内容、全体のスケジュールなど、地域会議委員に提示すべき内容を説明した。

【質問】ヒヤリング調査の対象団体、ワークショップの参加者は、美里地区のみなのか、豊田市内全域なのか。

(事務局) 今回の調査は「美里地区特有の地域課題」を把握することが目的なので、団体、一般参加者のどちらも美里地区のみを対象とする。

【質問】8月の地域会議でアンケートの内容を決めるとあるが、何も無い状態だと20問をどのようにするのかイメージが湧かない。最初に業者と事務局で調整して、何か示してもらえないようなものがあるのか。

(事務局) 地域会議の場でゼロから20問を作成するのは難しい、というのは事務局も同じ意見。業者との契約は早く7月末になるので、7月10日の地域会議までに事務局がある程度のたたき台を作成し、それを7月の地域会議で議論していただく。その後、出てきた案に対し、委託業者に助言をもらい、そのうえで8月の地域会議で質問内容を確定したいと考えている。

【意見】アンケート調査の事前告知チラシについて、自治区に回覧する場合は、8月の区長会前にチラシをもらわないと回覧ができない。

(事務局) チラシは「こういった調査をやります」という程度の内容のため、8月の区長会までには作成できると思う。委託業者が間に合わなければ、事務局でチラシを作成する。

【質問】アンケート調査の結果、件数が多いものが「美里地区の課題」となるのか。

(事務局) 件数が多い意見が必ずしも「美里地区の課題」になるとは限らない。アンケートの結果を見て、どの意見が重要視すべきものなのかを地域会議で協議し、ヒヤリング調査に繋げていく。

【意見】設問内容は、回答を誘導しないような設問にするよう注意すべき。

(2) 役割分担について

各調査について、地域会議委員、事務局、委託業者がそれぞれどの役割を担うかを説明した。

【意見】アンケート調査については、結果の周知が必要なのではないか。

【意見】美里地区の全員ではなく、65歳以上の一部に対して実施するアンケートなら、周知する結果はそこまで詳細なものではなくていいと思う。「アンケートを実施し、分析結果を基にヒヤリング調査を行った結果、こういった結果になりました」といったものでいいと思う。

(事務局) 結果の周知についての視点が抜けていた。今後調整する。周知する内容に関しても、いただいた意見を念頭に置いて検討していく。

5 地域会議の全体スケジュールについて【説明】

現在進めている高齢者実態調査、地域課題解決事業の公園の交流事業について、それぞれどのようなスケジュールで進めていくかを説明した。

【質問】9月、10月の地域会議は何をするのか。

(事務局) 9月にアンケートを送付し、回答が届いてから分析が終わるまで約2か月かかる見込み。その間の地域会議はヒヤリングの事前準備に充てたいと考えている。聞き取りの内容はアンケートの分析が終わってからだが、調査を円滑に進めるため、前もって調査団体の候補や日程調整などの事前準備を進めておきたい。

【質問】業者との話は進んでいるのか。

(事務局) 6月上旬に参考見積を依頼し、今は返事を待っている状況。一部の業者からは既に参考見積をもらっている。

【意見】業者の分析について、業者が近隣の地区のデータを持っているなら、他地区との比較もできたらいいと思う。

(事務局) 業者がデータを持っているか、持っていたとして比較をしてもらえるのかまだ分からないが、今後の業者との打合せ時に、そういった分析が行えないか協議する。

【意見】今回のような高齢者の実態調査は、過去に市が何度も行っている。その結果から豊田市の総合計画が作成されている。そのことも踏まえたうえで、美里地特有の課題を見つける調査を進めていきたい。

(事務局) 業者への分析依頼時に、過去に市がどのような調査を行っていたのかを参考資料として提供し、市の実績も踏まえて分析をしてもらうよう依頼する。

6 福祉専門フェローについて【報告】

高齢者実態調査について、調査の専門的な目線だけではなく、福祉の専門的な目線からの助言を得るため、よりよい支援課所管の福祉専門フェローの川端様に、今後の調査にご協力いただくかを検討していることを報告した。

後日、松村会長、野村副会長と事務局で川端様と打合せを行い、今後の方針を協議する。

7 事務連絡

第4回美里地域会議について

- ・日時 令和7年7月10日(木) 19時～
- ・場所 美里交流館 多目的ホール
- ・内容 アンケート調査の内容検討